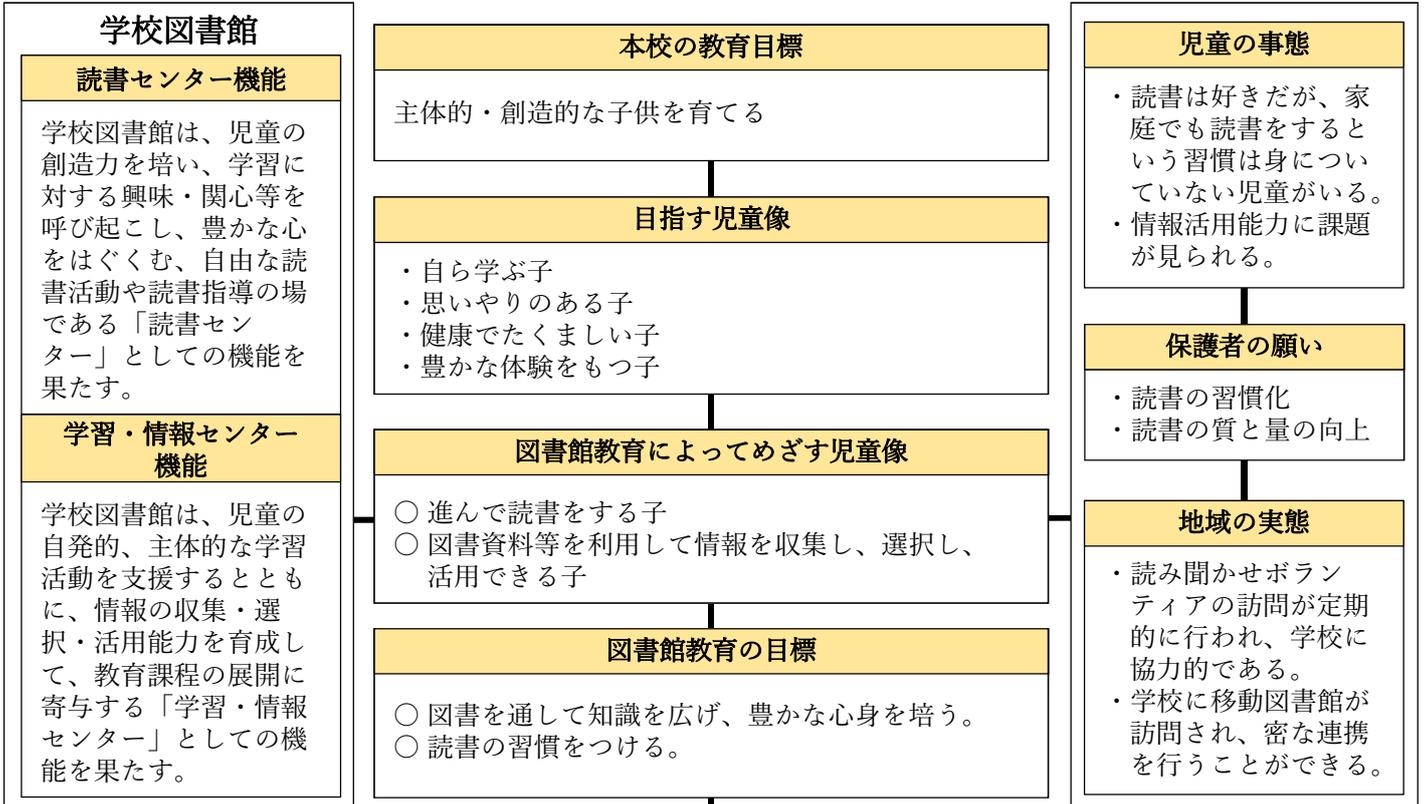


# 学校図書館教育全体計画



各学年（低・中・高別）の重点目標			
	低学年	中学年	高学年
<b>学び方指導</b>	学校図書館に利用の仕方を知り、図鑑や科学的なことについて書いた本などを読むことができる。	進んで学校図書館を利用し、辞典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明することができる。	積極的に学校図書館を利用し、複数の本や新聞等を活用して、調べたり考えたり報告したりすることができる。
<b>読書指導</b>	やさしい読み物に興味をもち、楽しんで読書をすることができる。	いろいろな読み物に興味をもち、進んで読書をすることができる。	適切な読み物を選び、読書を通して心情を豊かにしたり、考えを深めたりすることができる。

学年別目標	1年		3年		5年	
	やさしい読み物を楽しんで読もう		いろいろな読み物に親しもう		適切な読み物を選んで読む習慣をつけよう	
	2年		4年		6年	
	やさしい読み物を進んで読もう		読書に親しみ、読書の幅を広げよう		読書を通して知識を増し、心情を豊かにしよう	

具体的な取組			
教科	特別の教科 道徳	特別活動	総合的な学習の時間
○ 図書館機能を活用し、課題解決学習、調べ学習、個別指導やグループ学習の場とする。 ○ 情報の収集、選択、活用能力を育成する。 ○ 読書指導を行い、読書週間を身につけ、進んで読書する態度を養う。	○ 図書資料を通して、様々な生き方や考え方に接する中で、自分の考えを深め、道徳的心情を養う。	○ 学級活動を通して、学校図書館の利用の仕方や情報の適切な活用の仕方を身につける。 ○ 学校行事（読書月間等）に積極的に参加し、目的に応じた読書の態度を身につける。 ○ 図書委員会を中心に自発的、自治的に図書館を運営し、読書活動の推進を展開する。	○ 図書や資料、新聞やパンフレット等を各学年の学習内容に合わせて活用する。 ○ 課題の探求、解決に向けて多様な方法で取り組むことで、児童が情報を収集、選択、活用する能力を育成する。 ○ 図書の学習時間に、情報活用能力を育成する学習を系統的に実践し、学び方を培う。

<b>保護者・地域との連携</b> ○ 地域ボランティアによる読み聞かせ活動を通して、読書に親しむ。 ○ 公立図書館と連携し、図書資料の充実を図る。	<b>家庭学習（読書）の推進</b>	<b>うち読</b>
	<b>朝読書</b>	<b>図書の整備・充実</b>